

二拠点居住の推進について

令和3年3月10日
山梨県

やまなし自然首都圏構想研究会

ウィズ/ポスト・コロナの時代に対応した、首都と地方の新しい関係性を大きなテーマとし、今後の生活、経済、文化、教育などすべてを変えるNew Normalとして、山梨がどういう価値を提供でき、どう実現するのか研究

自然首都圏構想推進部会

ウィズ/ポスト・コロナの時代における本県のあるべき姿に関する事項について検討

二拠点居住推進部会

本県への二拠点居住の推進に係る具体的な施策に関する事項について検討

山梨県デュアルベースタウン研究会

都市部に拠点をもちながら、豊かな自然のある山梨に住み、働くとともに、必要に応じて都市部のオフィスや会議に行くようなライフスタイルが送れるまちについて研究

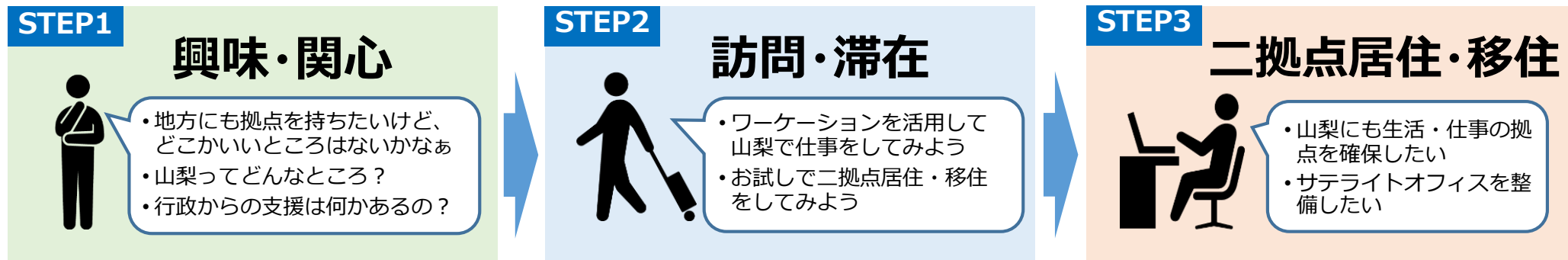
ワーケーションワーキンググループ

ワーケーションについて今後取り組むべき施策を具体的に研究

各研究会で頂いたご意見を総合し、二拠点居住の推進に向けた基本的な考え方や施策、事業について取りまとめ

二拠点居住の推進について

- ◆ 二拠点居住の推進にあたっては、まず、ひとの流れについて、その動線を「興味・関心」「訪問・滞在」「二拠点居住・移住」の三つの段階として整理。



- ◆ さらに、あらゆる分野において施策を展開するため、施策を「まち」「ひと」「しかけ」により分類し、全体像を整理。

- 「まち」の施策 : 受入基盤・インフラの整備に係る施策
- 「ひと」の施策 : スムーズな受入体制の構築に係る施策
- 「しかけ」の施策 : 企業等に向けた本県への誘導に係る施策